

Departure English Expression

『ライティング・サポート・ノート』で 英語表現に自信をつける

編集部

2020年度より実施される大学入学共通テスト（以下，新テスト）に向け，民間検定試験の応募・検討などの準備が始まりました。

新テストでは4技能を評価する上に，「知識・技能」だけでなく，「思考力・判断力・表現力」が重視されるため，インプットはもとより，アウトプットする力もしっかりとつける必要があります。

Departure English Expression II Revised の準拠問題集である『ライティング・サポート・ノート』は，新テストに備えて，表現する力が確実につくよう設計されています。その内容をかんたんにご紹介します。

◆ Part 1 の構成

『ライティング・サポート・ノート』は教科書の Part 1 と Part 2 に対応しています。Part 1 は各レッスン2ページ構成で（Standard 編），1ページ目では教科書の例文を使って文法事項と表現の確認を行います。2ページ目では，選択・穴埋め・整序問題やかんたんな英作文でそのレッスンの文法事項の定着を図ります。また，3～5レッスンごとにまとめの演習問題（Advanced 編）を4ページご用意し，過去の大学入試問題を取り上げています。

Part 1 では，単文の組み立てがしっかりとできるようにすることを目指します。

◆ Part 2 の構成

続く Part 2 では，文構成に留意して，論理的

なパラグラフで自己表現ができるようになることを目標としており，各レッスン，4ページ構成になっています。

1，2ページ目の Standard 編では，Part 1 と同様に，教科書の例文を使って文法事項と表現を押さえ，整序問題や誤文訂正問題，英作文で定着させます。3，4ページ目の Advanced 編では，教科書の例文の言い換えを行います。直訳しようと思うと難しい日本語表現でも，言い回しを工夫することで既知の語彙でも表現できることを学びます。演習問題には過去の大学入試問題も入れているので，受験対策にもなります。

◆ 全体のねらい

Part 1，2ともに，英語で表現するには難解に思えることでも，持っている語彙の範囲で表現できるスキル，「言い換え」（paraphrasing）の方略能力を習得し，speaking や writing といったアウトプット活動の基礎を構築することを最終目標としています。そのための手助けとして，設問によって，構造・表現・語彙を考える上でのヒントを示しています。中には100語以上書かせる設問もあり，負荷が大きいのにも思えますが，別冊の「解答・解説」で考え方や注意点をていねいに解説しているので，それを踏まえた上で取り組むという方法も考えられるでしょう。

『ライティング・サポート・ノート』で表現したい内容を適切な語彙と文構造で表現できる力を構築し，「英語で表現すること」に自信をつけさせましょう。